

いずみさの
教
育



問合せ
学校教育課

地域ぐるみの安全対策

子どもたちへの安全対策として、不審者から子どもたちを守るための取組を紹介します。市内の全小学校と全こども園に受付ボックスを設置し、受付員を配置しています。登校・登園後には閉門し、通用口の限定を行っています。また、カメラ付きインターホンを全小中学校に設置しています。来校される人には受付名簿に記名していただき、来訪者プレートを着用していただいています。スクールガード・リーダーを配置し、すべての小学校に対する巡回指導を行っています。

また、不審者情報のメールシステムにより、学校から寄せられた不審者情報についてはメールを配信するとともに、各校園だけではなく関係機関にもFAXを送信し、注意喚起を行っています。

学校や関係団体などと連携して、市内一斉パトロールを実施したり、教育委員会でも独自に安全対策パトロールを行ったりしています。

一方で、地域との連携も不可欠です。PTAや民生委員・児

童委員、福祉委員、青少年指導員、地域安全センターなど、みなさんの協力のもと見守り活動が継続されています。登下校時の付添や巡回、「こども110番の家」などの協力により、安全安心な町をめざしています。

学校では、学校安全指導計画を作成し、子どもの安全確保に努めています。地震・火災などの災害発生時や不審者侵入時の避難訓練を行っています。

小学校での不審者対策の避難訓練は、警察に来てもらい指導を受けています。教室に不審者が侵入した場面を想定し、教室からの避難の方法や周辺の学級の子どもの避難・職員室への緊急連絡・職員による不審者への対応など緊急時を想定した訓練を行っています。

学期末には、教育委員会・学校・関係団体などと連携し、「子ども安全対策会議」を開催しています。不審者の情報共有や取組などの意見交換を行いながら、不審者への抑止につながるようにそれぞれの立場でできることを推進するよう努めています。



学校園紹介



仲間とふれあうクラブ活動
～佐野中学校～

本校では多くの生徒が入部し、放課後、元気に楽しく活動しています。その中で得られる仲間とのふれあい、対外試合・発表会での緊張感、教科学習では得られない貴重なものです。この体験は、目に見えない財産として身に付き、将来、きっとプラスになるものと信じています。新入生には自分にあった部活動を見つけて、ぜひ入部してもらいたと思います。昨年度は野球部が大阪大会優勝・近畿大会出場、陸上部は個人が近畿大会・全国大会へ出場し、活躍しました。

体育部			文化部	同好会
男子	女子	男女		
野球 サッカー 卓球	ソフトボール バレーボール バドミントン	バスケット テニス 陸上 柔道	手芸 美術 演劇 パソコン 吹奏楽	競技カルタ



「たくましい心と身体を持った子ども」を目指して
～日新小学校～

日新小学校では目指す子ども像を次のように設定し、保護者のみなさんや地域の人と連携しながら、日々の教育活動を推進しています。その取組の一部を紹介します。

- ①あいさつができる子ども
- ②しっかり学ぶ子ども
- ③たくましい心と身体を持った子ども
- ④自分とともに人も大切にする子ども



【朝のあいさつ運動】

児童委員会が校門や玄関に立って「朝のあいさつ運動」を展開しています。元気よくあいさつを返してくれる子ども、恥ずかしげに口だけが動いている子どもなど様々ですが、今後も運動を継続して、全校児童がしっかりあいさつができるようになっていきます。

【ドッジボール・かけ足・なわとび】

本校では時期に応じて、ドッジボール大会、かけ足大会、なわとび大会を実施し、健康な身体づくり、体力づくりに取り組んでいます。また、大会に向けた練習を通じてクラスの団結力が高められています。昨年度はドッジボール大会で優勝した6年生のクラスが、「おおさか子どもドッジボール大会」に学校代表として出場し、見事2位に入賞しました。

【友愛訪問活動】

地区の福祉委員さんとともに、6年児童が一人暮らし高齢者宅を訪問して誕生日をお祝いする「友愛訪問活動」は、本校の大切な取組です。高齢者からかけられる温かい言葉や優しい笑顔から、ボランティア精神が育成されるだけでなく、自己有用感を育てることもつながっています。「花いっぱい運動」や「ユニセフバザー」などの活動も引き続き取り組んでいきます。